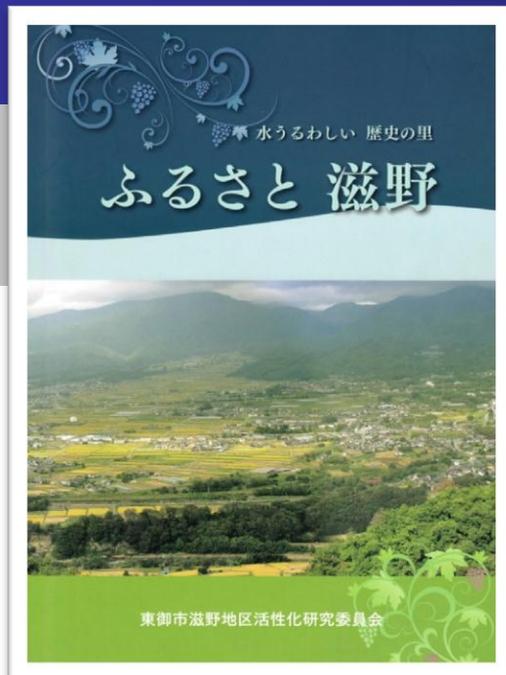


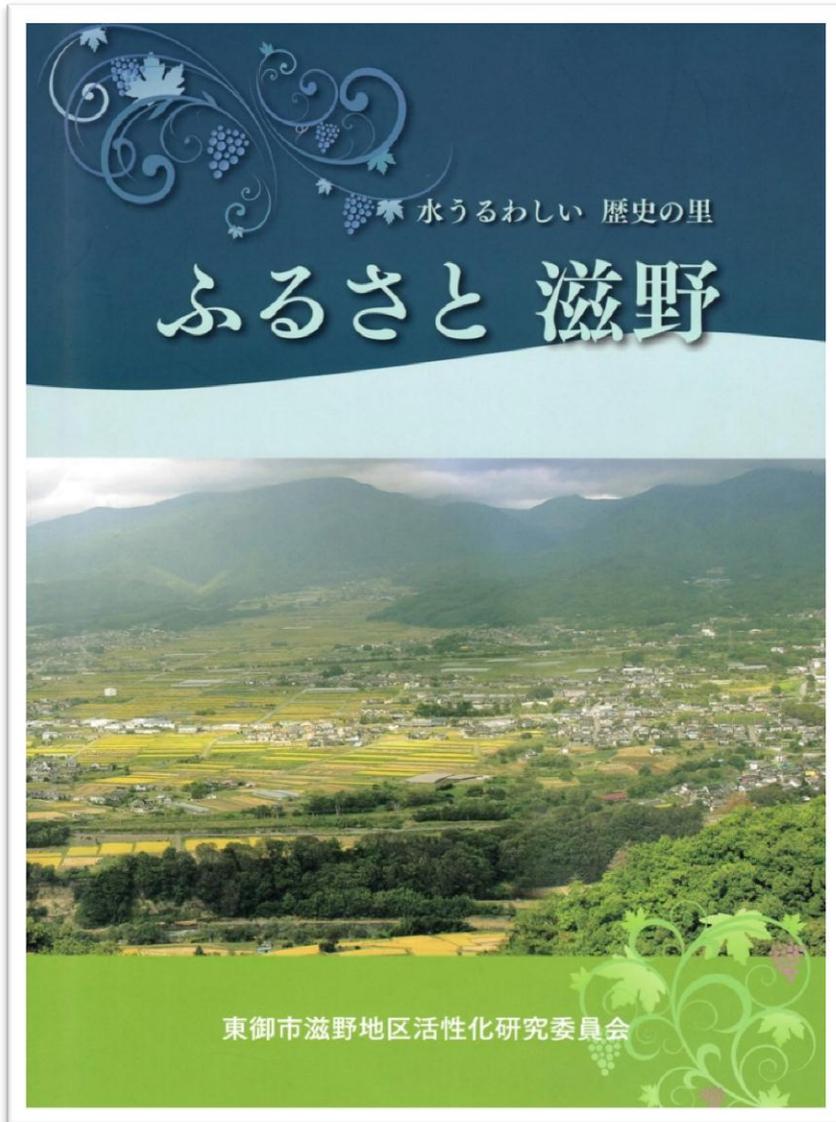
# ガイドブック「ふるさと滋野」 にかける私たちの思い



しげの里づくりの会  
(滋野地区活性化研究委員会)



# 「ふるさと滋野」の概要



A4版 カラー80ページ  
1850部印刷

## 内容

- ・ 発刊によせて
- ・ 滋野の道と鉄道
- ・ 滋野を潤した水
- ・ 滋野の歴史年表
- ・ 滋野10区の紹介

## 活用方法

区民に1部ずつ配布  
滋野小学校に寄贈



ガイドブック「ふるさと 滋野」を前に話す活性化研究委員会のメンバー

## ふるさと滋野 理解を深めて

東御市滋野地区の住民でつくる同地区活性化研究委員会は、地元の歴史や文化などをより詳しく知ってほしいと、ガイドブック「ふるさと滋野」を作った。3年近くかけて完成。地区内に10ある区（自治会）ごとに章を設け、各区の住民が自分たちの区の特徴をまとめた。赤岩区は「牛に引かれて善光寺参り」の伝説に登場するおばあさんの住居があったとされる

東御地元住民がガイド本作成

## 歴史や文化 自治会ごとに紹介

―と紹介。おばあさんの布を角に引つ掛けて走り去った牛を追いつけた末に善光寺に着いた、との逸話も記した。大石区は、地元出身の江戸時代の名力士、雷電為右衛門（1767～1825年）を取り上げた。勝率が歴代最高の9割6分2厘だったことや、区内に残る生家と墓などを写真付きで掲載。中屋敷区はブドウ栽培、聖区はケヤキの大樹などに触れた。

他に、明治以降の出来事の年表や地元の滋野小学校校歌も載せた。研究委内に設けた編集委員会の副委員長、丸山克寿さん（80）＝滋野乙＝は「若い世代が増え、地区の行事に参加しない人も多い。この本で歴史や文化について理解を深め、地域づくりに参加するきっかけにしてほしい」と期待。今後は年1、2回、ガイドブックを教材に地域を探访する催しを企画する予定だ。

ガイドブックはA4判、80頁。1850部を印刷し、同地区の区に加入している全世帯に配ったほか、滋野小に130部を寄贈。市や市立図書館などにも贈った。一般への販売も検討している。問い合わせは信州うえだ農協滋野店内の事務局（☎0268・62・0403）へ。

# なぜガイドブックをつくらうと思ったのか



活性化のためにはふるさとを知ること。そのために地域のことをわかりやすくまとめたガイドブックをつくらうということになりました。

# ガイドブックの3つの編集方針

- **地域の紹介**⇒単なる地域の歴史・文化・行事の紹介ではなく、自分たちが住んでいる地域をまるごと紹介するものとします。
- **全員参加**⇒原稿は書けばいいというものではなく、地域のことをわかっている地域の皆さんが自ら取材し原稿を書くことが大切です。
- **わかりやすさ**⇒次世代をつなぐ子供たちに読んでもらうことが大切です。子供たちにわかるように、言葉遣いもわかりやすく、読みやすいものとします。

# ガイドブック完成までのあゆみ

- 平成23年4月 ガイドブックの編集方針  
各区ごとに編集委員を選任  
写真班の委嘱、随時撮影
- 9～11月 掲載内容の検討
- 平成24年9月 粗原稿のとりまとめ
- 10～11月 校正
- 平成25年1月 最終原稿のとりまとめと校正
- 2月 完成原稿の提出
- 2月末 完成

# 4つのこだわりとは何か

第1のこだわり おらが区の紹介

第2のこだわり 珠玉の1枚の写真

第3のこだわり 歩きたくなるような案内図

第4のこだわり わかりやすさ、読みやすさ

ガイドブックでは区を紹介を心がけました。そのために以下の取り組みを行いました。

- ◆ キャッチフレーズ
- ◆ テーマカラー
- ◆ 区を象徴する一枚の写真
- ◆ レイアウト、デザインの自作

# こだわり その1ーたとえば赤岩区では……



- ▼キャッチフレーズ  
⇒ 伝説と刀匠の里
- ▼テーマカラー  
⇒ 赤岩にちなんで赤
- ▼とっておきの1枚  
⇒ 赤岩の全景写真
- ▼レイアウト  
⇒ 集落の形から縦に配置

牛に引かれて善光寺参りの伝承はここ赤岩です。

# こだわり その1ーおらが区のキャッチフレーズ

はらぐち

## いぬだていせきとそばの 戌立遺跡とそばの里 原口



いし

## 雷電生誕の地 大石

雷電寫左門



### 大石区の紹介

区内を国道が東西に、県道東御  
嬭恋線が南北にはしり、西沢川、桜  
沢川が北から南へ流れています。

本大石・金子・有津倉・原・牧家の  
5集落からなり、牧家は、古代の新  
張牧の牧士らの居住地にちなむと  
いわれ、大石村の名は、戦国期に諏  
訪上社のお祭の書物に出てきま  
す。

江戸後期の大名雷電為右衛門、  
洋画家関晴風の出生地でもありま  
す。

大石村は、東は大石沢川、西は津  
津村境まででありましたが、寛文10

なかやしき

## ぶどうの里 中屋敷

ぶ  
ど  
う  
の  
り  
の  
な  
し  
き



かたは

## げんせんこんこんの 原泉混混の里 片羽

げ  
ん  
せん  
こん  
こん  
の



### 片羽区の名所、旧跡

- ①…目鏡橋
- ②…八幡神社、御膳水
- ③…稻荷神社、巨茨、鼻取り地藏
- ④…塚穴古墳

# こだわり その1ー聖区ではマスコットキャラクター登場

## 三方に抱かれた郷 聖



聖区の大けやき



### 聖区の見方・歩き方 ひじりマップ 地図

三方に抱かれた郷 ひじり

癒しの聖地 聖区

森林浴 水漏れ日が気持ちいい林道

さくらの森 かくれんぼ所 稲の木の木がいっぱい

聖から水を市民の皆さんに供給

富士山が見えるビューポイント

水芭蕉の生息地

聖から水を市民の皆さんに供給

花がいっぱい憩いの道

住居の大切な飲み水を供給する深井戸

この地を開拓し生まれた聖の歴史が刻まれた「開拓の碑」が聖区の誕生が刻まれています

史跡・名勝等

- ①…聖のシンボル大ケヤキと山の神線
- ②…開拓の碑
- ③…憩いの道
- ④…さくらの森
- ⑤…水芭蕉
- ⑥…水芭蕉
- ⑦…水源

# こだわり その2ー珠玉の1枚の写真を



それが一番光り輝くときを写そう！

## こだわり その2ー表紙の写真へのこだわり



滋野の珠玉の1枚の撮影ポイントを探し、撮影許可をいただくのに四苦八苦。おかげさまで実りの秋の滋野の里をカメラに収めることができました。

# こだわり その2—子供たちのあふれる笑顔も……

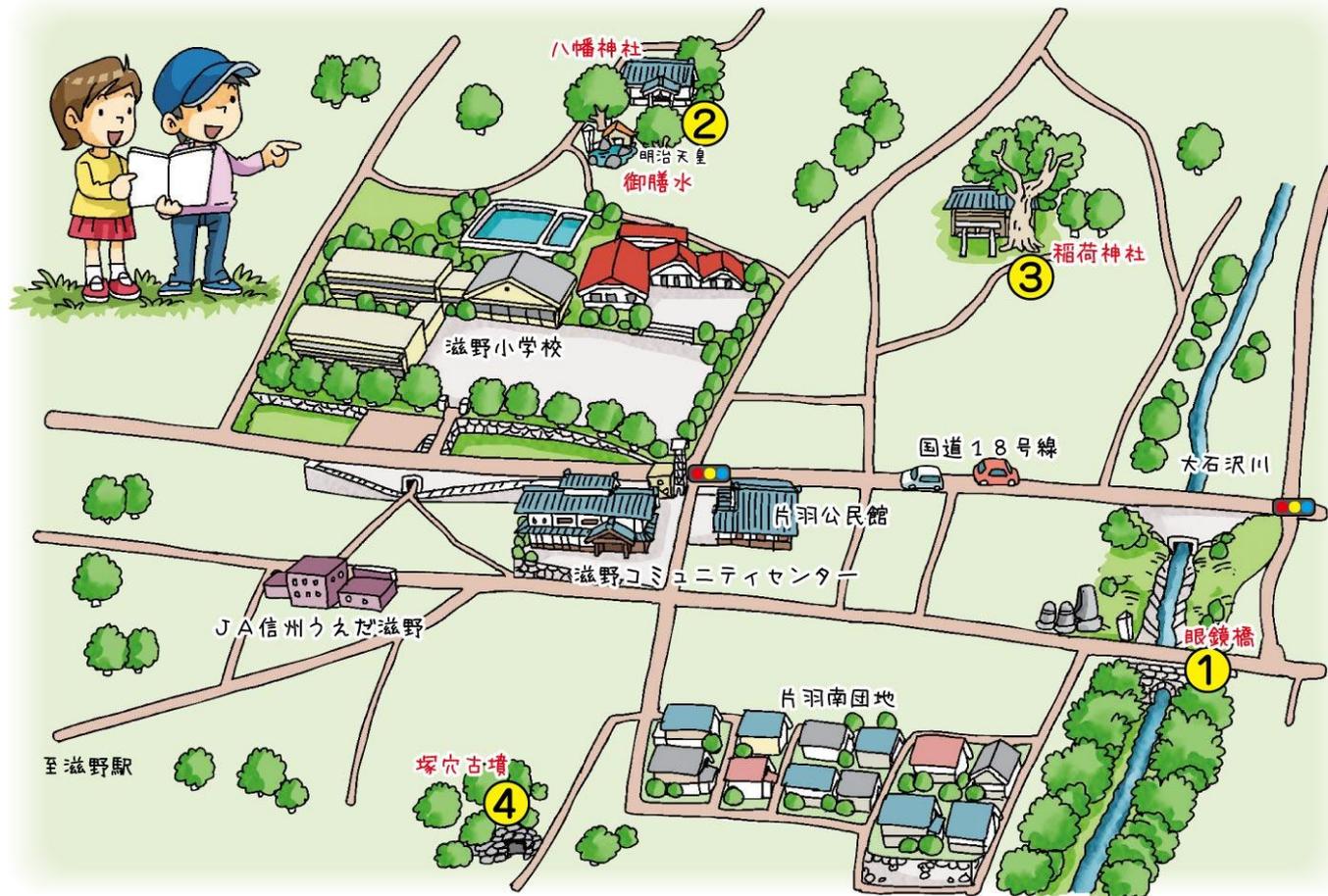


# こだわり その3—手書きのイラストにこだわりました



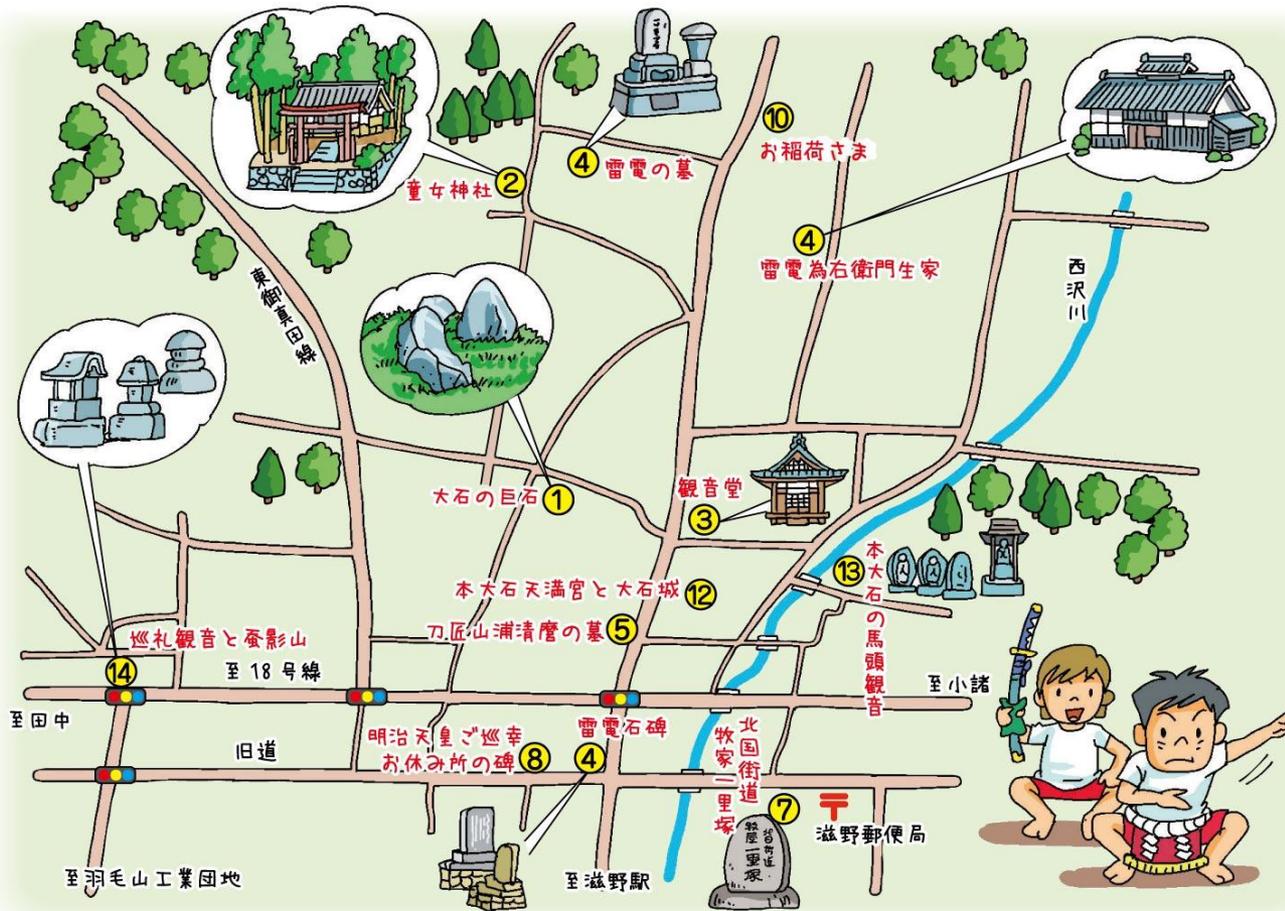
案内図は手書きのイラストにこだわり、地元のイラストレーターにお願いしました。

# こだわり その3ー実際に現場を見てくれました



イラストレーターの方は実際に現場を訪れ、細かい道を調査して描きこんでいただきました。

# こだわり その3ー地域の雰囲気が伝わってきます



雰囲気を伝えるイラストを描きこんでもらったため、歩いて楽しい案内図になりました。

- いくらレイアウトや写真が良くても、内容がなければ読んでもらえません。
- 大きな文字、わかりやすい文章、読みやすい表現を大切にしました。
- 小学校高学年の子供たちがわかる内容に心がけました。
- そのためには単なる校正ではなく、責任校正を徹底しました。

# こだわり その4ーすべて自分たちで編集しました

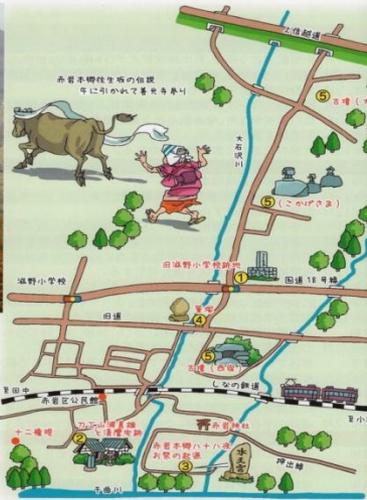
あかいわ

## 伝説と刀匠の里 赤岩

布引山より赤岩区を望む



布引山より赤岩区を望む



**史跡・名勝等**

- ①…旧滋野小学校跡地
- ②…刀工山浦真雄と清庵宅跡
- ③…赤岩本郷八十八夜祭の起源
- ④…筆塚
- ⑤…古墳と道祖神（こかげさま）

**赤岩区を紹介**

赤岩区は南傾斜で河岸段丘もあり、森や坂の多い変化にとんだ地域であり、東側には平沢川、西には1級河川の太石沢川が千曲川に向かって流れています。東西にはしなの鉄道、国道18号線、上信越自動車道が通っています。

区の名前の由来には諸説ありますが、その一つによれば区の南側の岸壁に赤い岩が多くあつたためと言われています。

赤岩区は1959年の昭和の大合併により押出（8戸）が小諸市に編入したため、平成24年現在世帯数110戸、人口309人となっています。赤岩が古文書に出てくるのは寛文10年（1670）赤岩村編行帳です。

ふるさと 滋野 16 Home country SHIGENO

伝説と刀匠の里 あかいわ 赤岩

赤岩区民のよりどころとなる旧赤岩公会場（旧赤岩公民館）は、寺子屋であった赤岩観音堂（明治5年廃堂）で使用されていた材料の一部を使って明治8年（1876）に建設されました。実に137年の長きにわたり使われてきました。そして取り壊された跡地に平成20年秋、現在の赤岩公民館が完成しました。

区の組織は、第一支区（新田）、第二支区（本郷）で構成され、10の隣組があります。

区内は道路、水路、圃場などの整備も進み、河川清掃や道路の草刈りなど環境整備に区民あけて取り組んでいます。

区内では生涯学習が盛んで多くのクラブがあります。分館活動ではこうした活動に対して補助金を交付し、ゲートボール、マレット、ゴルフ、ビーチバレーなどの大会が行われています。また区民芸術発表会・敬老会・作品展覧会を開催し、多くの区民が参加して交流と親睦を深めています。平成24年で38回目となります。

環境整備活動



環境整備活動



区民芸術発表会・敬老会の様子

**1 旧滋野小学校跡地**

滋野地区にはもともと多くの寺子屋がありましたが、明治5年（1872）の学制頒布により明治8年（1875）、赤岩新田地区に精業学校（のちの滋野小学校）が開校されました。東側は校庭で、北側に東西の向きに建てられた平屋校舎がありました。また、校舎の窓はすべて当時珍しかったガラス窓であったため、ギヤマン（ガラスのこと）学校と言われました。

大正14年（1925）現在の場所に滋野小学校が新築され、4月に移転しました。旧学校跡（国道18号赤岩信号北側）に昭和50年（1975）滋野小学校跡の碑が建てられました。

ふるさと 滋野 17 Home country SHIGENO

レイアウトも印刷会社にまかせではなく、パソコンを使って自分たちで考え工夫しました。

## これからの課題

- ガイドブックは完成しました。しかし本を作ることが目的ではありません。このガイドブックを使って地域のことを知り、ふるさとを愛する心を育てることが大切です。
- そのために実際にガイドブックを使った「ふるさと探訪会」を実施したり、子供たちへ「ふるさと勉強会」を計画してまいります。
- この春から活性化研究委員会は新しい組織「しげの里づくりの会」に改組されました。これまで以上に活性化に取り組んでまいります。

- ご清聴ありがとうございました。



しげの里づくりの会  
(滋野地区活性化研究委員会)